



第63回 全国植樹祭 やまぐち 2012

社長名代特別参加レポート！ 経営企画部 水野正幸

5月27日、第63回全国植樹祭が「育む いのち～彩りの森・光る海・碧(あお)い空 燦(きら)めきの発進」をテーマに、山口市阿知須の山口きらら博記念公園において県内外の招待者約1万人が参加して開催されました。

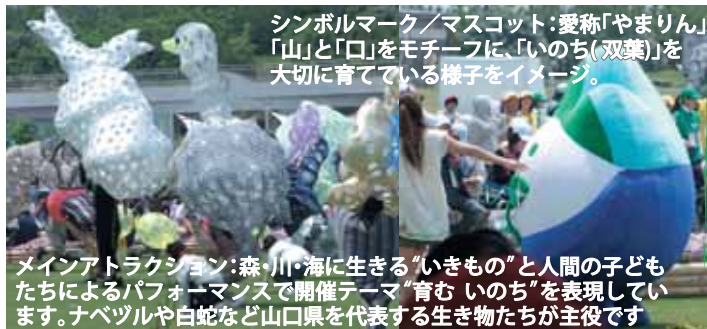
山口県での開催は防府市での開催以来56年ぶりであり、会場となった山口市阿知須きらら浜は「きらら博」の会場跡地で、植樹祭が海浜部だけで開かれたのは全国で初めてのことです。大会には天皇、皇后両陛下が御臨席され、記念式典では「お手植え」により天皇陛下は県木のアカマツとクスノキ、シイノキ、皇后陛下はクロマツとヤブツバキ、県花のナツミカンを植樹されました。また「お手まき」では天皇陛下が種を一粒一粒丁寧にまかれ、先に終えられた皇后陛下がその姿をじっと優しく見つめられていたことがとても印象的でした。

式典では東日本大震災被災地の復興を祈り、宮城・岩手・福島県に山口県で育てたクロマツの苗木3千本が贈られ、会場内の「復興の森」においても3県の代表者により苗木が植えられました。本大会では全国招待者に加え約1万人の自由参加者を含めて約2万3千本が植樹されましたが、その内の1本は筆者が植えたものです。



今回の第64回全国植樹祭は「感じよう 森のめぐみと 緑の豊かさ」をテーマに2013年春、鳥取県で開催予定であり、リレーセレモニーで二井関成山口県知事は「ご成功をお祈りします」と述べ、鳥取県の平井伸治知事に植樹祭のシンボルである木製の地球儀が手渡されました。閉会の言葉の後、天皇皇后両陛下が御退席され式典は終了しました。アトラクションも全て幕が閉じ、山口から「育む いのち」をテーマとしたメッセージが全国に発信されました。

参加者約1万人が日の丸小旗を振って天皇、皇后両陛下を奉迎



シンボルマーク/マスコット:愛称「やまりん」「山」と「口」をモチーフに、「いのち(双葉)」を大切に育てている様子をイメージ。

メインアトラクション:森・川・海に生きる「いきもの」と人間の子もたちによるパフォーマンスで開催テーマ「育む いのち」を表現しています。ナベツルや白蛇など山口県を代表する生き物たちが主役です



天皇陛下がお手植えされたアカマツ、クスノキ、シイノキ



「お野立所」錦帯橋の精巧な木組みの構造をモチーフ

主催者あいさつ:二井関成山口県知事



天皇皇后両陛下お手つき



大会シンボル「木製地球儀」は二井山口県知事から平井鳥取県知事へ



ちゃっかり久保田宇部市長と記念撮影!

二井山口県知事がヤナギヤを訪問



4月27日、山口県知事の二井関成知事が当社を表敬訪問されました。東日本大震災の復興支援活動や当社の概要について、柳屋社長がビデオと展示資料でご説明させて頂きました。二井知事は熱心に資料を手にとって目を通され、このあと組立工場、開発研究棟をご見学されました。



二井関成知事(68)は4期目の今年8月21日をもって引退されます。16年間本当にお疲れ様でした。

